

◆ニックネーム・グループ名（人数）

うた

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 水を大切に使う

活動の動機

家で出来る身近なことに注目し解決したいと思ったので、節水活動を選びました。また、水は毎日使うので「大切さ」を見つめ直したいと思ったのも理由のひとつです。



活動実施日

20220725

目指すSDGsゴール

6 安全な水とトイレを世界中に

解決したい地域の課題

普段水を使う時に少なからず無駄な水が生み出されてしまっています。そんな無駄な水を少しでも減らしていきたいと思いました。

目指す将来の姿

はじめは、「節水を心がける」という目標をもとに水を大切にしていこうと思いますが、ゆくゆくはそれが今までの当たり前の日常にとけこめるようにしていきたいです。「節水する」ではなく「当たり前」に変われば無駄に水を使わなくなると思います。

活動の内容

日常生活では、1日1人200~300Lの水を使用しているそうです。シーン別では入浴や洗濯、食器洗いに多くの水を使用していました。それを元に私は「食器は油を拭いて水を貯めて洗う」「お風呂の水は洗濯に再利用する」という方法を考えて実行しました。また、インターネットでも節水方法について調べ「食器洗い乾燥機を活用する」という方法も試しました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

さよ

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 食品ロス削減のために

活動の動機 昔から貧困が続いており、今でも飢餓で苦しんでいる人がいるにも関わらず、食品ロスはあまり減っていないから。



活動実施日

20220813

目指すSDGsゴール

2 飢餓をゼロに

解決したい地域の課題

食品ロスの原因の一つである「食べ残し」を解決したい。現在の日本は1人あたり毎日お茶碗1杯分の食料を捨てている。なので誰でも出来る食べ残さないことをみんなが意識できるような地域を作っていきたい。

目指す将来の姿

食品ロスを削減することで、税金を使って飢餓の人達が十分なご飯が食べられるようになってほしい。また、食品ロスで地球温暖化が進行するようなことをなくしたい。

活動の内容

3日間にわたって行い、一日目は「食べ残さない」ことを目標とし、苦手な物はアレンジして食べました。2日目は余ったピーマンの肉詰めを冷凍保存し、別日に食べました。また、買い物では行く前に冷蔵庫を確認し、余計なものは買わないようにしたり、なるべく賞味期限が近いものを買うようにしました。3日目は昼ごはんを食べた肉じゃがを夜ご飯でコロケにリメイクしました。こうした工夫し、食品ロスを減らしました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ゆんいろ

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 家庭内での食品ロスを減らそう！

活動の動機

私は中学3年生の時に、SDGsの食品ロスの現状について知った。食品ロスの原因の約半分が家庭からとなっていることから私の家庭でも何か出来る出来ないか考え、実行するチャンスだと思ったから。



活動実施日

20220813

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

ゴミ捨て場に行くと、カラスがゴミをつついて、生ごみが周囲に散乱している。そのせいで匂いがひどく、空気が悪く感じ、ゴミをまとめて捨てた意味が無いこと。

目指す将来の姿

家庭で出た生ゴミを「捨てる」という思考ではなく、「再利用」という思考になること。そして日本人1人あたりお茶碗1杯分のご飯の量を捨てるのではなく、お茶碗半分の量より少なくなるようにすること。

活動の内容

私は2つの取り組みを行った。まず、各食材の消費期限・賞味期限を紙に書き出すこと。乳製品や非常食などをかきだした。書き出したことで、期限が切れて捨てられやすい食材も早めに料理に使われ、期限が切れて捨てることはなくなった。次に、生ごみを堆肥にするコンポストを行った。この取り組みは、1ヶ月もかかるとは知らず始めるのが遅かったため、まだ生ごみは分解しきれていないが、生ゴミの大きさは小さくなったと感じた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ayaaa

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 環境にやさしい料理

活動の動機 いつも毎日のご飯は母に作ってもらっていて、ほとんど自分で作らないので自分の自分が十分にある夏休みに自分のことは自分でやろうと思ったから。



活動実施日

20220810

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

地元でとれたものを買うことで商品運搬に使われる二酸化炭素を削減したい。それから普段の料理では捨ててしまう食材の皮をなるべく使って家庭、地域のゴミを減らしたい、

目指す将来の姿

地球温暖化が進んでいる今、地産地消の食材を買ったり調理の工夫や食材を無駄なく使ったりして環境に配慮する取り組みを推奨したい。それからエネルギーを上手に使い食品ロスを減らせるような、料理方法をみんなが実践する姿を目指す。

活動の内容

まず家庭内で排出されるゴミの量を調べてみると生ゴミは全体のゴミの約20%で紙類に続いて多いことがわかった。食品ロスの量は約3.7万トン。次に旬の野菜の値段をスーパーとJAと比較してみるとどれもJAの方が50円以上安く売られていた。次に家にある残り物で環境に配慮した料理を作った。最後に料理で出たゴミの量を測り普段の料理出でるゴミの量と比較した。生ゴミを減らすためになるべく野菜そのまま使う工夫をした。

◆ニックネーム・グループ名 (人数)

さっちゃん

(1人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル

小さな筒から覗いた世界(視野障害)

活動の動機

視野障害を持つ祖父にとって何が生活をするときに怖いのかを知りたいと思った。中途障害で趣味をやめ、すごくいい資格を持っているのに障害がみつかりいい就職になれないようにした祖父の難病を知りたいと思ったから



活動実施日

20220801

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題

祖父は40代の頃に難病がわかって見た目は目が見えているようにみえるので、「本当に難病なのか」と言われたり定年退職後にやりたかった趣味も諦めました。なので、皆が互いに助け合うことができる地域にしたいです

目指す将来の姿

ハンディを持っている人を見かけて困っているように見えたら「お手伝いすることはありますか？」のように声をかけてくれる人が増えてほしい。スロープや段差が少なく滑りにくい幅広い年齢の人を障害を持っている人も使いやすい場所を作る。障害があることに偏見を持たず優しい心を持つ人が増えてほしい。

活動の内容

福祉として網膜色素変性による視覚障害について調べました。徐々に視野が狭くなり視力も徐々に低下していきます。なので具体的に何がどれくらい先にあるか知らせると頭の中で想像できるので安心感があるそうです。祖父は実際に1人で外出したときに大きな穴が分からず穴に落ちて血だらけになり意識を失ったことがあるそうです。夜盲という夜や薄暗い場所で物や人が見えにくくなるのが大変と聞きました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

かずのこ

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル お家で簡単！やってみよう“3R”

活動の動機 家でできて環境のためになることを考えた時昔習った「3R」を思い出したのでそれぞれの項目でできることを考えたらいいのではないかと思い選びました。



活動実施日

20220810

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

ゴミの分別をしっかりとしてもらいゴミを減らしたい。
もっと環境について関心を持ってもらいたい。

目指す将来の姿

たくさんの方が3Rについて知り、対策を実践し、その輪が広がっていく。それによってゴミが減り環境が良くなり暮らしやすい街をつくる。そしてSDGsの目標にも近づける

活動の内容

リデュース(ものを大切に使いゴミを減らす)のために家にある風呂敷でできるマイバックを作った
リユース(使えるものは繰り返し使う)のために、タオルを雑巾にリメイクした
リサイクル(ゴミを資源として再び利用すること)のために環境にいいとされた商品のマーク、エコマークのついた商品を探した。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

楠二段

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル フードロスとプラスチックゴミの削減

活動の動機

私はニュースをきっかけにプラスチックごみやフードロス・食品ロスの問題が深刻になっていることを知り、こういった問題は一人一人が意識すれば解決に近づくと思ったから。



活動実施日

20220814

目指すSDGsゴール

12 つくる責任 14 つかう責任

解決したい地域の課題

ペットボトルやビニール袋などのプラスチック製品の使用と、家庭やスーパーなどでの食品の廃棄という課題。

目指す将来の姿

買い物の仕方を改善することで12番のつくる責任、14番の海の豊かさを守ろうを達成することができる。

活動の内容

フードロスや食品ロスを減らすために買い物へ行く前に冷蔵庫のなかをチェックして買いすぎを防止したり、スーパーなどでは手前から奥に向かって賞味期限や消費期限が長いものが置いてあるので、手前からとったり半額シールが貼ってある商品を購入したりした。さらに、プラスチックごみ問題も意識してエコバックを用いたり、買い物のときだけでなく学校ではペットボトルではなく水筒を持っていた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

竹川博貴

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル

リサイクル

活動の動機

家のプラスチックゴミが入っているゴミ箱を見てみたらその中に沢山ペットボトルが入っていてリサイクルした方が環境にいいと思ったから



活動実施日

20220721

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

ペットボトルや古紙などのリサイクル資源リサイクルすることで環境にやさしいことにみんなが取り組むことができること

目指す将来の姿

みんなが環境のことを考えて行動して無駄なゴミを出したりゴミをポイ捨てしたりしないなどのことを地域としてできるようになっていて誰も見ていなくても一人一人の意志で環境のためのことを考えて行動することができる

活動の内容

夏休みの始めのうちからペットボトルを集めてどれだけ貯まるかを自分で把握してそれについて考えた。ペットボトルは思っていたよりも沢山溜まっていて家庭によって差はあると思うが、これがたくさん家庭でリサイクルされていたらたくさんの量のペットボトルやリサイクル資源などがリサイクルされているんだと気づいた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

Ts

(1人)

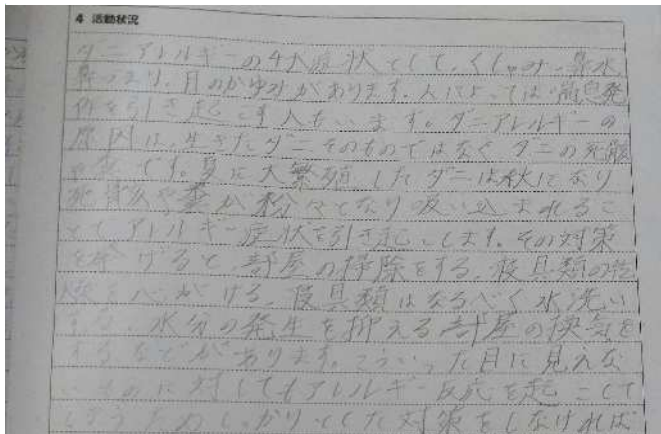
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 住まいのダニやハウスダストなどへの対策

活動の動機

僕は、たくさんのアレルギーを持っています。どのようにしたら自分の命を守れるのかということを見つけに、この活動をしようと考えました。自分のためにもなり他人のためにもなり一石二鳥だと考えましたからです。



活動実施日

20220729

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題

たくさんの方がアレルギーの危険性についてあまり知らないのではないかと考えました。僕も何度か周りの人の悪ふざけで危険にさらされたことがありました。そういったことを防ぐため皆に知識を与えたい。

目指す将来の姿

僕は、今回の活動を実践することでたくさんの方がアレルギーの危険性について知ることができ、3番の「すべての人に健康と福祉を」を達成できると考えました。

活動の内容

たくさんの方が持っているようなダニアレルギーとハウスダストアレルギーによる症状(くしゃみ、鼻水、皮膚のかゆみなど)について調べ、それらの対策(掃除を行う、換気、防ダニの工夫など)を調べました。そしてこれらの情報はほんの一部であり人によっては重い症状がでるということ、それから、こういった知識を知ること自分のためにもなり、他人のためにもなるということを考えました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

Qwerty

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 海を見て

活動の動機

釣りに行ったり、海に遊びに行ったりするときに、海岸にガラス製品やガラス片、陶器、プラスチック製品のゴミをよく目にするから。



活動実施日

20220826

目指すSDGsゴール

14 海の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

プラスチック製品は水には溶けないので海に流れつかないようにしたり、リサイクルなどをもっと行ったり、プラスチックの回収できるようなBOXを設置したりして対策したり、個人でも気をつけること。

目指す将来の姿

今よりもっとプラスチック製品のリサイクル率などを上げたりして、海に漂ってるゴミは取ろうとしても困難なので、これ以上出さないという姿を目指していくべきだ。

活動の内容

海に行って、テトラポットや堤防、砂浜などの周りを見て周り、どこに、どれだけあって、どんなゴミがあってどんな形をしていたかを確認しに行く。実際に、ゴミを拾ってみる。どれだけの割合がプラスチックゴミでどんなプラスチック製品が多いかを確認する。海の状態も、どれだけ波があってきれいか汚いか、などを確認する。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

増田優希

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル ごみを拾って ラッキー！！

活動の動機 自分たちが住む町にはポイ捨てされたりしているごみがあふれ、それが私たちを含む生態系に影響を与え、環境にまで悪影響を及ぼしているから。



活動実施日

20220825

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

自分たちが住む町に大量のごみが捨てられているので、その量を減らしつつ、ポイ捨てしてしまう人をできるだけ少なくしていくこと。

目指す将来の姿

他人が落としたごみを、自分たちが拾ってゴミ箱に分別して捨てるだけでなく、ポイ捨てしてしまう人がいなくなって、一人一人、そして動物たちも暮らしやすい環境づくりを自主的にできる。

活動の内容

みんなが使う歩道に落ちているごみを拾うという単純なことです。軍手とゴミ袋を用意すれば誰でもできます。ただ、ここで重要なのはタイトルにもある通り「ラッキー！！」という言葉です。野球で有名な大谷選手は、グラウンドに落ちていたゴミをゴミとして拾うのではなく、「運」として拾っています。ゴミ拾いを運拾いとして行い、私の行動がこのSDGsアクションを通して広まって、よりクリーンな地球にしたいと思い行いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

みかん

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 知ろう、自然の活用方法

活動の動機

家に太陽光パネルと雨水タンクがあり、それらが家庭や地球にどのくらいの影響を及ぼしているか、どのような利用方法があるのか具体的に知りたくなったから。



活動実施日

20220724

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

太陽光パネルや雨水タンクについての理解が浅く、設置にかかる費用や天気によって発電や雨水が思うように得られないという点からあまり身近ではないという課題。

目指す将来の姿

今回の活動を通して、太陽光パネルを設置する事で抑えられる二酸化炭素排出量や雨水タンクの活用方法を知ってもらい理解を深めてもらう。そして太陽光パネルや雨水タンクの設置を前向きに考える家庭が増え、二酸化炭素削減に太陽光パネルが貢献する、雨水タンクにより水不足が少なくなる事。

活動の内容

7月24日から7月30日までの1週間、1日の発電量、売電量、売電額、防ぐことが出来た二酸化炭素排出量を夜に記録する。また、1日一回計7回雨水の利用方法を考えて実行、6月7月の分の水道代を平均的水道代と比較する。二酸化炭素排出量は太陽光パネルで発電した電気を液化天然ガス火力発電で発電した場合を考え、1kWhあたり0.415kgの二酸化炭素が排出されるとする。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

NSG

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 物にもセカンドライフを

活動の動機

消耗品に位置づけられた物は本来の使い方が終わると捨てられてしまうが、母が牛乳パックを様々な場面で再利用している姿を見て僕にも物にもう一度命を吹きこむことはできないかと考えた。



活動実施日

20220823

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

ごみの中には、本来の使い方が終われば当たり前前に捨てられていたり、もったいない使い方をして捨てられていたりする物もあるので、ごみの基準を考えたい。

目指す将来の姿

消耗品と思っていても使い終わった後に他の利用方法があることを考えたり実際に再利用できたことを楽しめたりできる人になりたい。またそのアイデアを人に伝え共有できる社会を目指したい。

活動の内容

一日一つ消耗品を捨てる前に再利用できないかと考えるところから始めた。牛乳パックを机の上の消しごむかす入れやまな板代わりにしたり、歯ブラシや菜箸で掃除グッズを作ったりした。使い古したタオルも大きさの違う雑巾に作り替え、工夫した。他にも小学生の頃を思い出し、短くなった鉛筆をつなげたり、ペットボトルを切って容器を作ったりした。何に生まれ変わらせられるかアイデアを絞り出すことも楽しめたと思う。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

彦さん

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル ゴミ捨て場の問題をどう解決するか

活動の動機 過去にゴミ捨て場がカラスに荒らされているのを見て、汚れないよう対策し、解決することはできないのかと考えたから。



活動実施日

20220815

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

ゴミ捨て場がカラスに荒らされてしまうことがあること。ゴミ捨て場が荒らされやすい状態になっていることがあること。

目指す将来の姿

ゴミ捨て場が荒らされることなく、綺麗なままで、ゴミが回収されること。ゴミによって不快にならないで済む、快適で暮らしやすい町

活動の内容

自宅付近のゴミ捨て場を見てまわり、荒らされやすくなるポイントはないか探したところ、過去に荒らされてしまっていたゴミ捨て場は、設置されている網におもりがないことに気がついた。大体のゴミ捨て場の網には、端にホースが結束バンドでつけられているが、そこにはなかった。使われているのはホースと結束バンドなので、用意することは難しくはないが、ゴミ捨て場は地域の持ち物なので、個人では何もできなかった。

◆ニックネーム・グループ名 (人数)

さとうそら

(1人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 全部の野菜使います野菜スープ

活動の動機

日本の食品ロスが年間522万トンになっていて、またその半分は家庭からのゴミということを知り、自分でも簡単に食品ロスを抑えることができないかと思ったから。



活動実施日

20220801

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

野菜を無駄なく使って、日本の食品ロスを減少させること。愛知県産の野菜をたくさん買って使うことで、地産地消に貢献する。

目指す将来の姿

日本の食品ロスを減少させて、SDGsの12番「つくる責任、つかう責任」を達成させる。また、ゴミの量が減り、燃やす量が減るため、地球温暖化を抑えたり、野菜をたくさん食べて健康でいたいこと。

活動の内容

地産地消と食品ロスの削減の2つを実行できるような野菜を使った料理を考えた。キャベツは芯が硬く、食べる時捨てる事が多いため、柔らかく食べられるように、煮て作るスープを作る事に決めた。ニンジンも普段皮をむいているため、むかずに入れることにした。なのに何の違和感もなく、おいしく食べる事ができた。野菜で普段食べない所も工夫して調理したら、おいしく食べられると知ったため、他の野菜でも考えてみたいと思った。

◆ニックネーム・グループ名 (人数)

鈴木友菜

(1人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 食材を大切に

活動の動機

私の家では買って来た食材や作った料理が冷蔵庫によく残っていて結局捨てられてしまうことが勿体ないなと思ったことをきっかけに12番のつくる責任つかう責任についてやってみようと思い選びました。



活動実施日

20220826

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

食べずに捨てられてしまう食材があることを解決したい。

目指す将来の姿

1つの家族で食べない食材や捨てられてしまう食材を減らしてたくさんの人が食べ物を食べられるようにする。フードロスについてみんなが意識して食材を買ったり食べたりできるようにする。

活動の内容

自分の家で作った野菜を積極的に食べたり新たに買い物に行かずに昼ごはんや弁当を冷蔵庫の食材を使って食べたりなど冷蔵庫の中身を減らす活動をしました。できるだけ賞味期限が近いものや野菜はダメになりやすいので野菜を積極的に使うなどしました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

たきい ここあ

（ 1人 ）

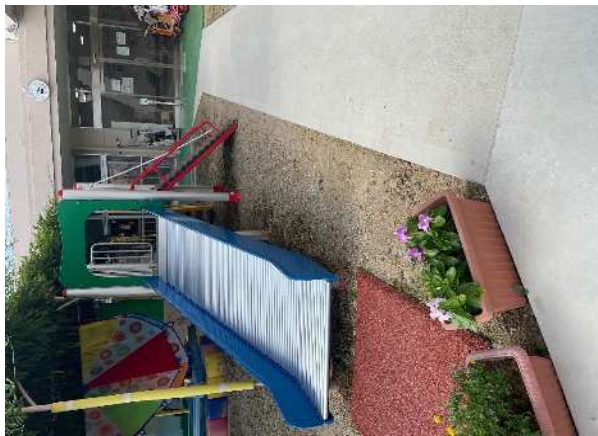
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル みんなちがうからおもしろい

活動の動機

自分が小、中学生の頃外国人の友達がいるとその子との経験から今の社会の様々な個性をもつ人達への接し方を変えるべきだと思い、まず自分が個性について学ぼうと思いこの活動を選びました。



活動実施日

20220723

目指すSDGsゴール

10 人や国の不平等をなくそう

解決したい地域の課題

私が解決したい地域の課題は、10番の「人や国の不平等をなくそう」を解決させるため、「個性について理解する」です。

目指す将来の姿

私が目指す将来の姿は「個性を大切に」です。人には様々な事情があって誰一人として同じ人はいません。これからの未来にはどんな個性を持つひとにもみんな違ってみんないいと思うことのできる社会を目指したいです。

活動の内容

まず家族と個性について話をして個性とは目に見えて分かるものだけではないという事が分かりました。また、私が羨ましいと思っていた個性も相手にとっては嫌だと思ってる場合もあると分かりました。次にボランティアで児童福祉施設に行ってみて、施設ではそれぞれの子に合わせた様々な工夫をしていました。全ての人の個性を平等に大切にするには社会にある様々な物にも工夫をして誰もが使いやすくするべきだと分かりました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

れ

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル エコクッキング

活動の動機

小学生の頃に、自由研究でリボンベジタブルを行いました。今回もそのような形で料理を作ればよりいいのかと思ったから。



活動実施日

20220801

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

食品ロスにより無駄に捨てられるごみの削減、ごみの削減によりその分二酸化炭素が減りきれいな空気が世の中に広がること。

目指す将来の姿

今回の私のプロジェクトをたくさんの方が行えば、まだ食べられるのに捨てられる食品が減りごみがへります。そして、ごみが減ることにより空気もきれいになり、今よりもっと住みやすい世界になっていくと思っています。

活動の内容

大根と人参を買い、ヘタから2~3cmのところを切ります。それを土に植え、毎日水をあげて様子を見ます。（途中で人参がかれてしまいました。外の暑さを考えて家の中で水につけて様子を見ることにしました。）大根は思ったより多く水を吸い、1日に数回水を変えました。9日後、大根の葉が20cm程度に伸びたので根元から0.5cmのところを切り、ごまあえとして活用しました。

◆ニックネーム・グループ名 (人数)

みどりレンジャー

(1人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 緑マスター！！

活動の動機 テレビなどでニュースを見ていてコンクリートが多く、とても暑そうだったり、森林が減っていると思ったので、自分で、緑を増やしたいと思ったからです。



活動実施日

20220726

目指すSDGsゴール

15 陸の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

自然を増やして、みんなが住みやすい社会にする。それと、生ゴミが少しでも減らせるように野菜などは多く食べられるように工夫する。

目指す将来の姿

私は、植物を植える活動を実践することで『住み続けられるまちづくりを』『陸の豊かさを守ろうを』達成でき、SDGsに貢献できる。

活動の内容

スイカ、キュウリをグリーンカーテンに、ピーマン、オクラは夏のイメージがあり育ててみたかった。ネギは可食部を増やす目的で育てました。スイカやネギは自分の食べた物を使ってゴミを減らしたりキュウリは部屋の温度を下げエアコンの節約のために自分で育てました。植物の育ちやすい場所を探したり、育てるために必要な物も用意しました。